

秋の私学助成運動 全国各地で大展開

私学助成署名中間集約:18県8万1803筆

青森6103筆、山形3万1365筆、千葉1863筆、東京9000筆、新潟7019筆、石川1611筆、香川1766筆、福岡1万9867筆など

目標は「11月末までに全国で100万筆集約」

学習、対話、依頼をどんどんすすめていきましょう。

集めた署名は県で筆数を数えて本部に報告してください。

次の中間集約は10月31日(金)です。



9月末学費滞納調査:26県223校

青森16校、山形8校、茨城14校、東京67校、神奈川23校、新潟13校、愛知17校、京都7校、広島17校、香川6校、高知4校、佐賀4校など

目標は「全国の私立高校の約1/3にあたる400校分」

実現が不透明な「私学を含む高校授業料無償化」を後押しする貴重な資料になります。

まだ回収ゼロの県はただちに全単組に連絡を入れてとりくみを促してください。

進んでいる県は未提出の加盟単組や過去の提出校を確認し、直接連絡を入れてください。

調査結果は単組から直接全国私教連にメールまたはファクスで送ってもかまいません。

最終締め切りは10月31日(金)必着です。

松本洋平文科相「高校無償化は大きな柱」 就任後初の記者会見で

10/22(水) 14:51 配信 産経新聞

松本洋平文科相は22日、就任後初の記者会見に臨み、喫緊の課題について「高等学校等就学支援金制度(高校無償化)の拡充、また高校改革を推進するための取り組みが大きな柱になると考えている」と述べた。自身が保育園時代、悪いことをしたら謝らなければいけないと指導されたことを振り返り「小さい経験かもしれないが、人間形成には大きかった。教育は重要な役割を持っている」とも語った。

熊本 街頭署名に通りかかった知事が激励!

10月18日、県で4回目の街頭署名には生徒・父母・教職員4校21人が参加し、14時から16時までの2時間で計234筆を集めました。とくに九州学院からは生徒12人、父母3人の参加でした。

スタート時は声がかかなり小さい時間がありましたが、開始10分くらいでエンジンがかかり、多くの生徒が10筆署名用紙の2枚目を埋めるような感じで勢いがありました。

河合代表ら保護者は、前半は市立本荘小学校の夏祭りに署名用紙を持っていき、署名を39筆集めて、後半は生徒たちに合流しました。

途中で木村熊本県知事が通りかかり、「皆さん、がんばってください」と声をかけてくれました。九州学院の長峰先生がすかさず駆け寄り、私学助成の拡充と12月に要請にうかがう旨を伝えました。